



渡良瀬遊水地
Watarase-yusuichi

1st
Anniversary



コウノトリってどんな鳥なの？

コウノトリは、湿地に暮らすとても大きな鳥で、おかしは日本のあちこちで暮らしていました。明治時代に入ると、いろいろな理由(※)でコウノトリが次々と姿を消してしまい、1971(昭和46)年に、日本の野生のコウノトリは絶滅してしまいました。

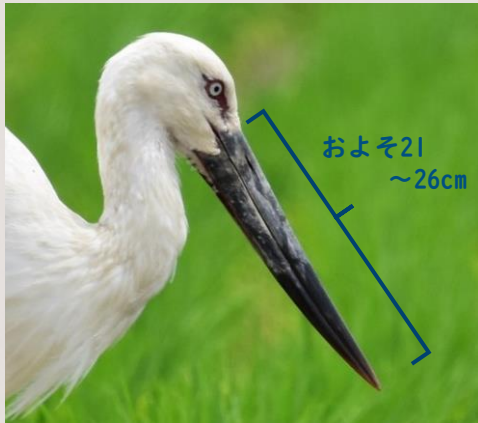
※主な理由・・・①たくさんのコウノトリが人に捕まえられた ②第2次世界大戦中にコウノトリが巣をつくるための松の木がたくさん切られた ③田んぼや湿地が減ったり、農薬をたくさん使うことでえさとなる生きものが減った

◆コウノトリのデータ◆

- 【分類】(ぶんるい) コウノトリ目 コウノトリ科 コウノトリ属
- 【学名】(がくめい) ※生物学での世界共通の呼び方
Ciconia boyciana(キコニア・ボイキアナ)
- 【和名】(にほんごのよびかた) コウノトリ
- 【英名】(えいごのよびかた) Oriental White Stork

写真はイメージです

◆くちばしの大きさ◆



およそ21
~26cm

およそ100~110cm
体重はおよそ4~5kg

およそ175cm

4~5歳くらいの
こどもとほぼ同じ
大きさです。

◆つばさを広げると・・・◆



およそ200~220cm

およそ50
~60cm

個体を見分けるための足環が
つけられています。

その後、日本の中で、最後までコウノトリが暮らしていた兵庫県を中心に、もう一度コウノトリを野外に戻す取り組みが始まり、いまでは、200羽以上(※)のコウノトリが野外で暮らしています。

※2021(令和3)年6月30日現在の野外個体数・・・238羽

(出典:兵庫県立コウノトリの郷公園HP)



くちばしをカタカタとならず「クラタリング」でコミュニケーションをとります。

写真提供: 横田 耕司 さん



渡良瀬遊水地
Watarase-yusuichi

なに た コウノトリって何を**食べる**の？

1st Anniversary



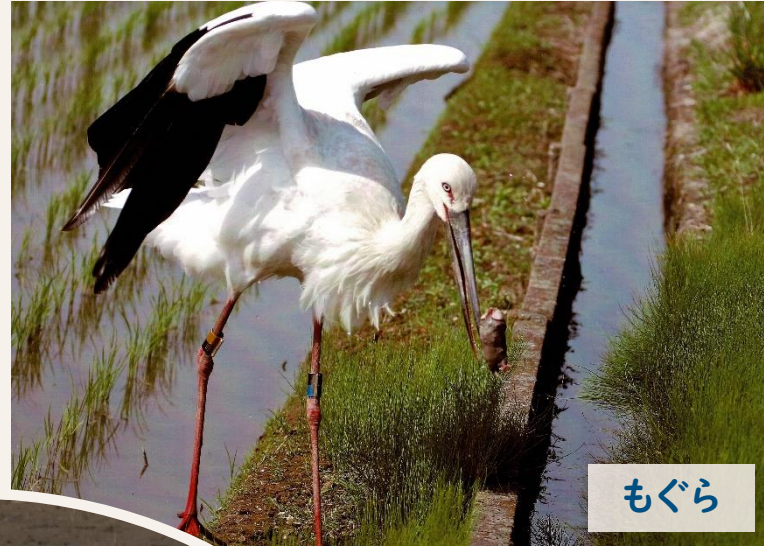
小さな自慢が山ほどあります
田園環境都市 みやま

コウノトリは、肉食の鳥です。魚やカエル、ドジョウなどの小さな動物を食べます。1日に体重の約1割(400~500g)ものえさが必要で、ときには、ヘビやカメ、ザリガニなどをつかまえることもあります。コウノトリが暮らしていくためには、えさとなる生きものがたくさんいる自然豊かな環境がとても大切です。

写真提供: 平田 政吉さん、石川 宜延さん、内田 孝男さん

フナ

大きすぎて食べられず……
残念!



もぐら

ザリガニ



カエル



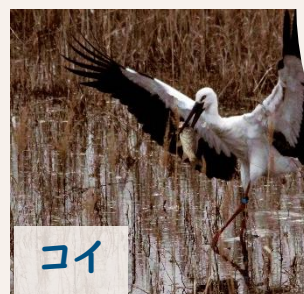
コウノトリはサギよりひとまわり大きいよ!

コウノトリ

サギ



コイ



ナマズ



カメ



カエル





渡良瀬遊水地
Watarase-yusuichi

わたらせゆうすいち

コウノトリと渡良瀬遊水地

1st Anniversary



小さな自慢が山ほどあります
田園環境都市 みやま

わたらせゆうすいち
渡良瀬遊水地は、2012(平成24)年7月に「ラムサール条約」に登録されました。ラムサール条約は、いろいろな生きものが住める貴重な湿地を守るための条約です。渡良瀬遊水地でコウノトリが暮らしているということは、わたらせゆうすいちやそのまわりのまちにコウノトリのえさとなる生きものがたくさん暮らしている証です。コウノトリやたくさんの生きものが暮らすことのできる自然が豊かな環境を守るために、私たちは力をあわせて取り組んでいます。

◆ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦◆

わたらせゆうすいち
渡良瀬遊水地の貴重な湿地を守るために、セイタカアワダチソウ(※)などの抜き取り活動をしています。



※北アメリカから日本に持ち込まれたキクのなかまです(外来植物)。根から毒をだし、渡良瀬遊水地にもともと生育している他の植物が芽をだせなくなったり成長できなくなってしまう。

◆環境にやさしい農業◆

わたらせゆうすいち
たくさんの生きものが暮らせるように、農業や化学肥料を減らしたり、使わない田んぼづくりに農家の方と力をあわせて取り組んでいます。



ふゆみずたんぼと白鳥

なまいこ 生井っ子

わたらせゆうすいち だい ちゆうせつち 渡良瀬遊水地第2調節池

たか 高さ12.5m

◆コウノトリ人工巣塔◆

コウノトリが安心して子育てできるように人工の塔をたてています。



ちようげい 直径1.8m

◆ヨシ焼き◆



毎年3月にヨシ原を焼いて、湿地を守っています。

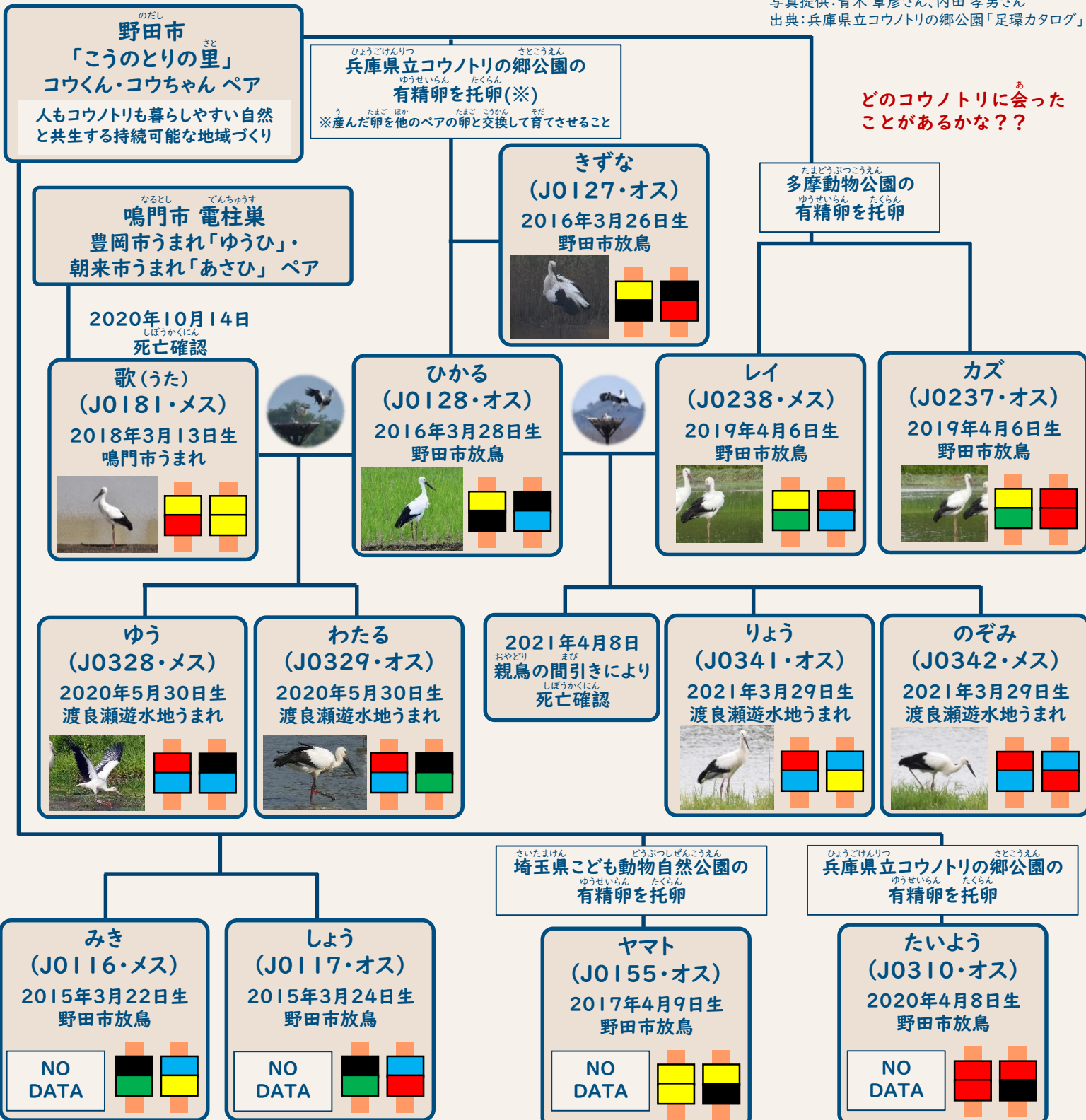
◆湿地の再生◆

国(国土交通省)が土を掘って湿地を再生しています。

関東地方に飛来している仲間たち

兵庫県では、2005（平成17）年からコウノトリを野外へ戻す「試験放鳥」が始まりました。
 関東地方では、千葉県野田市が、2015（平成27）年からコウノトリを放鳥しています。
 渡良瀬遊水地では、野田市で2016（平成28）年に放鳥された「ひかる」（J0128・オス）と
 徳島県鳴門市で生まれた「歌」（J0181・メス）のペアから、2020年にヒナが生まれました。
 残念ながら、「歌」は左脚のケガが原因で死んでしまいましたが、2021年には「ひかる」と
 「レイ」（J0238・メス）の新しいペアから、ヒナが生まれています。
 野生のペアからヒナの誕生が確認されているのは、東日本では渡良瀬遊水地だけです。

写真提供：青木 章彦さん、内田 孝男さん
 出典：兵庫県立コウノトリの郷公園「足環カタログ」



かんさつ とき コウノトリを観察する時のルール

コウノトリは国の法律(※)で守られている希少な鳥です。コウノトリがこれからも渡良瀬遊水地で暮らしていけるよう、みんなで温かく見守っていきましょう。

※文化財保護法で特別天然記念物に、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)で国内希少野生動植物種にそれぞれ指定されています。

出典:兵庫県立コウノトリの郷公園「あなたのまちでコウノトリが巣作りをはじめたら」

かんさつ とき 観察する時は……

しず みまも (1) 静かに見守りましょう

コウノトリを驚かさないようにやさしく静かに見守りましょう。観察したり写真を撮ったりする時は、コウノトリが遠かったり、飛び立ったりしないように、150m以上(車の中からでは100m以上)離れましょう。

ちいき めいわく (2) 地域に迷惑をかけないようにしましょう

コウノトリは、田んぼや草地、川、水路などでえさをとり、電柱や人工巣塔の上に巣を作ります。観察する時は、勝手に私有地や農地に入らないようにしましょう。また、道路に車をとめて、他の車の迷惑にならないよう、気をつけましょう。

はんしよくき す ちか (3) 繁殖期には巣に近づかないようにしましょう

2~7月はコウノトリの繁殖期(巣を作り、卵を産んで子育てをする時期)です。この時期に人が近づくと、巣作りや子育てに悪い影響を与えることがありますので、巣には近づかないようにしましょう。

※渡良瀬遊水地では、堤防の上から観察しましょう。



あた えさを与えるのはやめましょう

野外で暮らすようになったコウノトリは、「野生動物」です。コウノトリが自分たちの力でえさを取り、仲間を増やして暮らしていけるように、えさを与えるのはやめましょう。一度、野外のコウノトリに人間がえさを与えてしまうと、自分でえさを採さなくなるだけでなく、人間を攻撃したり、交通事故にあたり(※)する恐れがあります。

※その他、「ヒトと動物の共通感染症」の媒介者となる恐れもあります。

はね コウノトリの羽をひろったら……

コウノトリの「羽」は拾った本人の所有物(もの)となります。許可なく譲り渡す(あげる、もらう、売る、買う、貸す、借りる)ことはできません。(種の保存法による)

